

# 被ばく低減対策好事例集

場所		分類					番号	30-07
原子炉建屋内	RB	Z5	1	時間				
タービン建屋内	TB		2	距離				
R ZONE	R		3	遮へい				
Y ZONE	Y		4	線源の除去				
G ZONE	G		⑤	遠隔、自動化				
その他 ( )	②		6	汚染拡大防止				
			7	その他				

内容 正確な被ばく線量算出を目的とした放射線管理情報収集方法

作業場所 1F構内全域

概略 被ばく低減対策を含む工事計画策定や除染などの工事成果を正しく評価するための放射線管理情報収集とその活用

評価 (定性・定量)	効果	対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	下表参照	下表参照
		人工数(人日)	--	--

事例詳細

対策前 管工事施工にあたり、工事管理者の被ばくが増大する傾向が強かった。

対策内容 Remote Monitoring System(RMS)を使った工事監視により、工事管理者の被ばく低減を図っている

## RMSの概要

「IPカメラ」「ヘッドセット」「リモート監視用APD」で構成

リモート監視用APD



本体



IPカメラ



無線



無線



## 被ばく低減量

企業	期間(作業日数)	作業エリアの幾何平均(mSv/h)	効果(時間(分))	効果分被ばく線量(人・mSv)
A社	H30.4.19~H30.7.27(72)	0.238	0.67(40)	11.42
B社	H30.6.5~H30.7.31(35)	0.294	0.33(20)	3.43
C社	H30.8.7~H30.10.15(43)	0.294	0.33(20)	4.21